



「ショートショート」とは、小説の中でも特に短い作品のことで、小野田高等学校の総合文化部・文芸読書のメンバーは、市内の観光名所や人気スポットなどを舞台とした「山陽小野田市ショートショート」を2021年から作成しており、2023年からは、山口県全体の観光地に舞台を広げた「山口県ショートショート」を発行しています。この作品集に込めた思いについて、同部顧問の白石由美先生と部長の村上結菜さん、部員の藤村南さんにお伺いしました。(取材日：2023年12月19日)

■いつもの舞台で繰り上げられる、いつもとは違う物語

この作品集は、本山岬のくぐり岩や三年寝太郎権現像、中央図書館など、私たちにとって身近な場所が舞台になっていて、登場人物やストーリーにも親しみを感じることが大きな魅力です。

作品集の制作は、様々な活動が制限されたコロナ禍の中で、生徒達が地域を見直すきっかけになることを目指して始められました。

また、高校生にとっては身近な場所をモチーフにしたフィクション作品が作りやすいのではと白石先生が考え、ショートショートを作品集のテーマに選んだそうです。

冊子の目次が地図になっているのも、作品づくりが地域連携に繋がればとの思いが込められています。

これまで読者の方からは多くの応援の手紙が届いており、中には市外から活動費を寄付してくれた熱心なファンもいらっしゃるそうです。

■高校生たちが作品に込めた思い

村上さんは、3作目の作品集から制作に参加。物語の流れを色々考えるのが楽しく、書いているうちに自分でも思っていなかった展開になることもしばしば。同じ場所をモチーフにしているけど、作者によって趣が異なるストーリーになることが、本作品集の面白いところだとも。

藤村さんには、中学時代に参加した小野田高等学校見学会で配られたショートショートに興味を持って同校に入学したエピソードも。頭の中で想像しながら描いた風景が、挿絵などと一体となった作品となり、自分のイメージどおりに再現できたと感じた時に、楽しさを感じると語ってくれました。

■待望の5作品目が誕生

この2月には新たな作品集「LOVE山口県ショートショートしあわせみつけた」が完成。村上さん・藤村さんらが「前作より良い作品ができたなら」「地域の特徴を生かし、読者が鮮やかに想像できるものに」との思いで取り組んだ作品集です。

これまで全5作品が制作され、現在では手に入らない冊子もありますが、市立図書館で借りることができます。高校生たちが紡いだ、ふるさとが舞台の瑞々しいショートショートを、皆さんも楽しんでみませんか？

(文・写真：山田幸司)

村上さん・藤村さんの

山陽小野田の
ここが好き！

豊かな自然と触れ合うことができ、
地域の方々がフレンドリーなところですよ！



Short